

八ヶ岳歩こう会 会報

■事務局からのお知らせ

◎日本海側の大雪警報が連日報道されています。太平洋側は例年になくカラカラ天気で雪も雨も降りません。この会報が出るころには日本海側と太平洋側の異常気象がおさまっていることを願いながら書いています。3月を迎えて太陽はだいぶ高くあがってきました。陽射しも部屋の奥まで入ってこないようになりました。360度の軌道を365日かけて公転する地球と太陽の関係が面白いですね。日本人は太陽暦の365日を四季で等分し、太陰暦の二十四の気と七十二の候をとりいれ、こまやかな季節の移ろいを感じ取って生活を楽しんできました。3月1日頃は雨水の末候です。ちっとも「雨水」には恵まれな今年ですが、そろそろお湿りが欲しいところです。草木の新鮮な息吹を感じたいではありませんか。3月4日の例会では「菜の花のような便りをいただいて腕こまねいてむせている」という歌、3月19日の例会では「芋の露連山影を正しうす」という俳句に巡り合えます（詳しくは例会詳細を）。菜の花はまさに雨水の旬の花です。芋の露は秋の季語ですが連山とは南アルプス連峰のことです。遠景に白い大理石の彫刻のような連山を眺めつつ足元に可憐な菜花を見つける、心豊かなウオークとなりそうですね。皆さまも筆と短冊など持参してご参加ください。

◎新会員：秋山 美恵さん(甲斐市)

【2025年3月の行事詳細】

■3月4日(火) 歩きたくなる古い街並み第二回・右左口宿(梅の花)

第二回は、甲府盆地の南部・御坂山系の北麓に沿って南北に伸びる曾根丘陵上につくられた集落・右左口宿を訪れます。この時季には、梅の花の甘い香りが何処からとなく漂わせてくれています。香に誘われるように、少し登りの道を心地よい汗をかきながら所々で休憩をとって右左口宿に辿り着きます。ふと振り向くと、八ヶ岳と北岳などの山々が一望できる素晴らしい場所になります。右左口宿は、昔より甲斐と駿河を結ぶ中道往還（別名・煮貝の道）の要衝として、信玄公時代より重視されてきたと言われています。昔の街並みの面影を、いまでも色濃く残しています。集落の端々に、道祖神及び六地藏

が静かに佇んでいます。宿場町を厄災より守ってくれています。また、旅人の安全を優しく見守ってくれています。

コースにおいては、多少のアップダウンになっています。ゆっくりとした歩行ペースで行きます。また、通常より多めに水分補給と休憩時間を取りながのウォーキングになります。

望郷の歌人・山崎方代の生家跡を訪れます。ミニ公園にて、地元の右左口宿文化村推進委員会の方々に説明して頂けることになっています。(20～30分程)

代表作 ・菜の花のような便りをいただいて腕こまねいてむせている。・一度だけ本当の恋がありまして南天の実が知っております。



御左口神社

- ・コース：曾根丘麓公園(トイレ)→常光寺→御左口(おさぶち)神社→歌人山崎方代の生家跡・ミニ公園(昼食・トイレ)→厄除け地蔵・道標→曾根丘麓公園(トイレ)
- ・距離：約9KM
- ・集合：10：30 曾根丘麓公園(管理棟・研修センター)前に集合して下さい。
〒400-1507 甲府市下向山町1271 TEL055-266-5854
- ※駐車場は、1番～6番まで駐車できます。3番の駐車場が研修センターに近いです。
(自分の車が駐車した場所をしっかりと覚えていてください。公園内は広いです)
- ※集合場所(曾根丘麓公園)まで運転できない方は、風土記の丘農産物直売所にて待って
いてください。小林光修さんが集合場所まで誘導します。10：00
- ※JR 甲府駅北口～曾根丘麓公園、区間を送迎します。下り塩山駅8：36～甲府駅北口8：
57・上り小淵沢駅8：21～甲府駅北口9：00
田中まで申し込んで下さい。(090-4927-5044)、3月2日(日)迄、700円：運転さんに
渡して下さい。
- ・解散：曾根丘麓公園 15：00
- ・参加費：会員300円 一般500円
- ・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
- ・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)／伊藤 清(090-5331-3173)

■3月5日(水) 月例会 韮崎市民交流センター(ニコリ) 2階第9会議室 10:00

■3月17日(月) 甲府城のお堀の跡をさがそう

甲府城には一の堀(内堀)、二の堀、三の堀の三つの堀がありました、現在その姿を残しているのは鍛冶曲輪の南、遊亀橋の両側の内堀のみとなっています。ただ遊亀橋も明治になってから造られたものでもともとはここに門(城への出入り口)はありませんでした、堀の外側の石垣も再現されたものという説もあります。そのほかの堀のほとんどは埋められ、狭められて暗渠となった水路が残っているところ、開渠で水路が残されているところ、まったく完全に埋められてしまったところ、川として使われているところなど当時の面影はあまり残されていませんが、江戸時代中期に作成されお堀が記載された甲府城下の絵図が何点か残されています。内堀と二の堀の間は武家町、二の堀と三の堀の間は町人町で地名にその名残を見ることができ、また堀であったところに特有な地形などの痕跡が残されている場所もあります。山梨県埋蔵文化財センター作成の平成甲府城下町絵図を頼りに甲府城下の堀の痕跡を探してみましょう、エッ こんなところにお堀があったのというような発見もあるでしょう。

- ・コース：甲府駅北口(トイレ)→三の堀跡→朝日公園(トイレ)→二の堀跡→タコ公園→中央公園→濁川→深町河岸跡→甲府駅南口(トイレ)
- ・距離：約9Km
- ・集合：甲府駅北口 信虎公像前 10時 小淵沢発 8:48 甲府着 9:39
- ・解散：甲府駅南口 14:30頃
- ・参加費：会員 300円 一般 500円
- ・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ダイアリー、保険証、その他
- ・担当者：大嶋俊壽(080-2044-4766)
- ・その他 昼食場所は未定です

■3月19日(水) 飯田蛇笏・龍太の里 境川を歩く

昨年10月、このコースは悪天のため中止となったが、今回改めての仕切り直し。春の好天を望まずにられない。

さて、境川は恐らく当会の例会ウォークで歩くのは初めてだろう。その境川には大正、昭和にかけての俳壇の巨星、飯田蛇笏・龍太の生家「山廬」が在り、不定期ではあるが公開されている。今回はその山廬の訪問を主目的として境川の歴史と文化の一端を辿る。山廬は蛇笏が名付けた自宅の呼称だが、蛇笏の別号でもある。

蛇笏、9歳の作を紹介しよう。「持つ花に落つる涙や墓まゐり」 9歳の作とは思えない出来栄えと思えるがどうだろう。卓抜した才能の片鱗か。山廬で蛇笏・龍太の足跡を辿ってのち、建物の裏手からなだらかな坂道を5分ほど登ると「後山」と呼ばれる高台に至り、甲府盆地を一望できる。ここから詠んだのだろうか。「芋の露連山影を正しうす」

蛇笏の代表作の内に数えられる。

山廬を後にしてしばらく歩くと聖應寺に着く。この寺の仏殿や開山堂は県内の仏教建築の変遷を知る上で重要だと言われる。ここには龍太の句が残されている。「吊鐘のなかの月日も柿の秋」 寺の境内で昼食の予定。

そこからしばらく坂道を行くと道脇に石和出身の作家深沢七郎の代表作「檜山節考」の文学碑がある。この小説の舞台は姨捨伝説の有る信州とされているが、作者は描いている人情や地形はここ大黒坂とし、辺りの空気は姨捨伝説を彷彿させる。

ここを折り返し地点として帰りは境川カントリーの前を通り出発点に戻る。途中、飯田家の墓所がある。

- ・コース：境川総合会館(トイレ)～石橋八幡神社～若宮神社～山廬(トイレ)～聖應寺(昼食・トイレ)～檜山節考文学碑～境川カントリー～飯田家墓所～板額坂～境川総合会館
- ・距離：約10Km 行きは登りですがゆっくり歩きます。帰りは下り。
- ・集合：9:30 境川総合会館 行き方は以下の通り
(公共交通機関利用の場合)
JR 上り 小淵沢 7:28 穴山 7:46 甲府着 8:08
JR 下り 塩山 7:50 甲府着 8:09
～甲府駅で山梨交通バスに乗り換え
甲府駅南口に出て正面タクシー乗り場の右側 山梨交通バス乗り場3番線
8:26 発 中道橋経由御所循環線 約30分で石橋下車、バス通りを約200m戻る。左側に境川総合会館
(マイカーの場合) 境川総合会館 笛吹市境川町三柵3 TEL 055-266-2014
- ・解散：境川総合会館 午後3時頃
- ・参加費：会員300円 一般500円 「山廬」入館料1,000円
- ・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ウォーキングダイアリー(会員のみ)、保険証など
- ・担当：村松光比古(090-6526-6737) 伊藤清(090-5331-3173)

※尚、天候に懸念のある場合はホームページで実施の可否をお知らせしますのでお確かめ下さい。

■3月27日(木)～28日(金) ぶらり中山道・赤坂宿～醒井宿

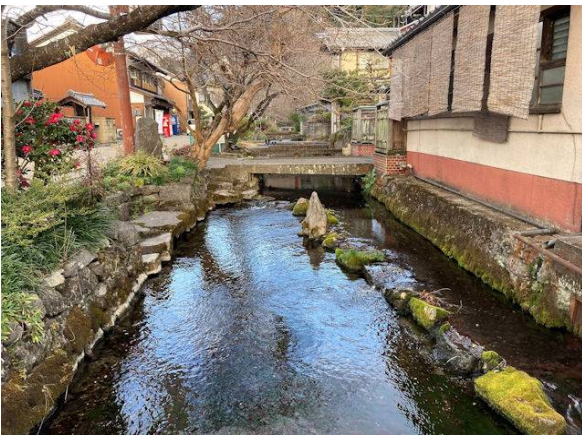
- ・概要：下見の結果、前回のお知らせと変わった部分がありますので是非もう一度よくお読みください。おかげさまでお申込み人数が想定より多かった為、大型バスに変更することができました、有難うございました。皆様から頂くバス代金に変更はありません。また、歩く距離が思ったより長距離だったので、一部バス利用で中抜きをしますことをご了承ください。宿泊費、バス代は変わりませんが、施設入場料3か所の金額と、二日目ランチ¥750が増えております。



関ヶ原記念館



やいとうどん



醒井宿



柏原歴史観

- 一日目コース：約 6 k m 赤坂宿～垂井宿～関ヶ原宿で本来 12 k m なのですが、この日は垂井宿までとします。そこからバスで「関ヶ原記念館」まで移動します。記念館でたっぷり時間をとり、その後宿へ直行です。
- 二日目コース：約 16 k m 関ヶ原～今須宿～柏原宿～醒井宿を歩きます。昼食予定地の柏原宿まで 10 k m 午後は 6 k m となります。昼食まではなんとか頑張って歩いてください。その後、自信のない方は申し訳ありませんが徒歩 5 分の JR 柏原駅から醒井駅までお帰りください（バスが入れません）。健脚組も醒井駅がゴールです。
- 宿泊：東横 INN 米原駅西口 0749-80-0045
米原駅徒歩 1 分 シングル朝食無料 ¥6,900 (税込み)
ツイン希望の方はご自分でご予約願います。
- バス代：会員 ¥18,000 一般 ¥19,000
- 参加費：会員 ¥1,000 一般 ¥2,000
- 入場料：3 か所 ¥400 + ¥70 + ¥300 = ¥770
- 朝食情報：朝食はおにぎりと簡単な飲み物だけです。
- 昼食情報：一日目は途中の SA でご自由に（弁当持参も可）
二日目は ¥750 柏原宿の名物「やいとうどん定食」をお楽しみください。

- ・夕食情報：宿周辺に何軒も食堂がありますが、外出が面倒な方は途中で弁当を仕入れて室内で食べても OK です。
- ・宿代情報：¥6,900 は「団体料金」です。各自で予約する方はこれより高いかも。
- ・集合時間：これまでより 1 時間早くしましたのでご注意を。遠方になってきましたのでご協力をお願いいたします。時間は下記の通りです。
- ・バスコース往路：平田家住宅前 7：20→小淵沢駅 7：30→途中 SA にて昼飯 1 時間→赤坂宿 13：00
- ・バスコース：往路：ホテル発 8：30→関ヶ原駅・・・醒ヶ井駅 16：30→小淵沢駅・平田家 20：30
- ・担当：多賀純夫 090-8857-2864 風路和子 080-6715-3826
- ・お申し込み方法：お名前、電話番号、乗車場所、シングル希望と書いてお知らせください。
メールはこのメールに返信で OK です。(又は taga-ya@pairhat.jp)
- ・キャンセル料：実施日の 1 週間前までに連絡くださればかかりません。それ以降ですと、その時点でバス代金が黒字になっていれば不要ですが赤字になっていればバス代の全額を頂きます。ホテルや弁当代のキャンセル料はそれぞれのキャンセル規定に従います。

【2025 年 4 月の行事詳細】

■4 月 1 日(火) 歩きたくなる古い街並み第三回・藤木の土壁の蔵(恵林寺の桜)

今回は、数多くの歴史的文化財を残して甲州の鎌倉とも言われている塩山地域を訪れます。スタートとして暫くして、地元の人に親しまれている、塩がとれない(塩ノ山)を登ります。整備された自然遊歩道のコースになっています。(標高・556M)、」足に自信のない方は、登らずに近くの別のコースを歩きます。スタッフの方が、誘導します。スタートと



して折り返し地点には、甲斐九筋の一つ古道・秩父往還の一部を歩きます。街道近くには、武田信玄公の菩提寺である恵林寺はじめ、昔の面影が残る街並みも歩きます。タイミング良ければ、さくらの花びらが舞い散るなかでのウォーキングになるかと思えます。コースについては、多少変化にとんでいます。

水分補給と休憩時間を通常より多めにとっていきます。注意していきます。

- ・コース：JR 塩山駅北口(トイレ)→塩山温泉郷→塩の山自然遊歩道→放光寺(昼食・トイレ)→恵林寺→常泉寺→向嶽寺(トイレ)→塩山駅北口(トイレ)
- ・距離：約 12km

- ・集 合：JR 塩山駅北口 9：40
下り 高尾駅 8：01→大月駅 8：46→塩山駅 9：25
上り 松本駅 7：12→小淵沢駅 8：21→穴山駅 8：39→甲府駅 9：12→塩山駅 9：33
- ・解 散：JR 塩山駅北口 15：30 頃
- ・参加費：会員 300 円 一般 500 円
- ・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
- ・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)／伊藤 清

■4月2日(水) 月例会 韮崎市民交流センター(ニコリ) 2階第9会議室 10：00

■4月4日(金) 武川さくらウォーク 担当：重田・小林

■4月8日(火) 長坂春の里山歩き「見法寺さんの花まつり」



八ヶ岳南麓にもやっと春がきました、文ちゃんの散歩道第2弾です

4月8日はお釈迦様の誕生日「花まつり」、見法寺さんのお庭でお話しをお聞きして甘茶のお接待を頂きます。見事な垂れザクラの下で昼食になります。お花見弁当になれば嬉しいのですが、乞うご期待

昼食後はオオムラサキの森や雑木林をぬけて長坂駅に戻ります。桜、黄梅、雪柳、どんな花々に出会えるか楽しみです雑木林にも若葉がめぶいている季節八ヶ岳南麓の里山を満喫して下さい。

- ・コース：長坂駅(トイレ)～穂見諏訪十五所神社～花の小道～妙要寺～見法寺(昼食、トイレ)～オオムラサキの森～農業大学校～長坂駅
- ・距 離：8キロ
- ・集 合：10：15 長坂駅
上り小淵沢 10：02 長坂 10：09
下り甲府 9：37 長坂 10：09

- ・解 散：14：30 長坂駅
下り長坂 14：56 上り 14：58 高尾行
- ・参加費：会員 300 円. 一般 500 円
- ・持ち物：弁当、飲み物、雨具、ダイアリー、保険証その他
- ・担当者：進藤律子 090-8948-2017 / 小林光修 090-4676-2067

■4月23日(水) 第17回鰻絵巡りウォーク

■4月30日(水) 春の佐久路、新海三社神社参り

【2025年5月の行事詳細】

■5月6日(火) 旧濁川舟運巡りウォーク第2回

■5月7日(水) 月例会 韮崎市民交流センター(ニコリ) 2階第9会議室 10：00

■5月27日(火) 歩きたくなる古い街並み第四回・茅葺の藤原邸(すずらんの花)

【月例会】

- ・月例会は毎月一度の話し合いの場です。どなたも歓迎ですのでご参加下さい。

【例会参加者へ】

- ・特に表記のない例会は、雨天決行です。
- ・特別の場合を除いて事前申し込み不要です。
- ・例会は、どなたも参加できます。
- ・会員は会員証とウォーキング手帳を御持参下さい。(貰っていない方は事務局へ)
- ・タイトルの前に※印があるのは当会主催ではありません。
- 他会主催の場合の詳細はそれぞれの主催者にお問合わせ下さい
- ・例会についての質問は、担当者名が掲載されていればそこへ。それ以外は事務局へ。

八ヶ岳歩こう会事務局 / 多賀純夫 電話 0551-32-5888 FAX 0551-32-6877